

子ども・若者の貧困から育ちの保障へ

2017.1.10

プログラム

基調講演「子どもの貧困全国調査から見える若年期支援のポイント」

講師：青砥 恭さん（NPO 法人さいたまユースサポートネット代表理事）

シンポジウム

シンポジスト：青砥 恭さん

渡邊 洋平さん（社会福祉法人常德会児童養護施設興正学園主任心理士）

屋代 通子さん（NPO 法人 CAN 自立援助ホーム シーズ南平岸施設長）

大澤 真平さん（札幌学院大学准教授）

コーディネーター：松田 考（札幌市若者支援総合センター館長）



レポート

～本人や家族だけでなく、社会に働きかけることが大切～

前半は、学びを通じた居場所づくりの先駆者である青砥恭さんから基調講演を頂きました。さまざまな事例と調査結果をもとに、社会との繋がりが弱かったり、帰属できるコミュニティをもたなかったり、安心して相談できる大人もっていない子ども・若者をキャッチし、つなぎ、長期で寄り添えるような地域の「場」をつくる必要性が示されました。

後半は、青砥さんと札幌の実践者・研究者を交えてパネルディスカッションを行いました。「子ども・若者の生きづらさの背景には、子育てや家族の問題だけではなく、社会の構造的な問題がある」「目の前の子ども・若者にソーシャルワークの視点をもってかかわることと、社会の枠組みとして子ども・若者やその家族がもう少し楽に生きることができるよう考えていくことの両方が必要である」といった意見が出されました。

本日のセミナーには 50 名以上の支援者にお越し頂きました。子ども・若者とその家族のために、新しい社会づくりを考えるきっかけにしていきたいと思えます。（文責：札幌市若者支援総合センター 松田考 松本沙耶香）